



ROTARY INTERNATIONAL

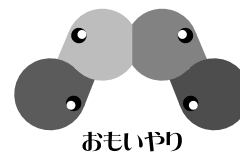
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO.2650



CHOHEI HASHIMOTO

ABS BUILDING
ANEKOJI KAWARAMACHI HIGASHI NAKAGYOKU
KYOTO, JAPAN



No. 7 January 1. 2008

ガバナー月信 第7信 (平成20年1月1日)

第2650地区 ロータリークラブ

国際ロータリー 第2650地区ガバナー

会長・幹事・みなさまへ

橋本長平

2650地区のロータリークラブ会長、幹事、会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も皆様方にとって実り多き年でありますようお祈り申し上げます。

● 1月は、ロータリー理解推進月間 ●

序

私たちは、日頃からロータリーに接しているため、却ってロータリーのことを知る努力をないがしろにしがちです。ロータリアンになった時には、入会クラブからそれなりの資料を渡され、一所懸命に読み漁るのですが、残念ながら入会したてのロータリアンには難解とも言うべき、ロータリー独特のロータリー用語の理解に苦しんで、結局はしばらくするとロータリーのことを知る努力を投げ出してしまふ方が多いようです。しかし、それでもロータリークラブに在籍していると、徐々にロータリー用語にも慣れてくるようになり、ロータリーが一体どんなものであるかが如何にもわかったような気になってしまいがちであります。ここに大きな檻が仕掛けられているのです。その後は断片的に入ってくるロータリー情報をその時々理解能力によって各人が個々にロータリーを解釈するようになり、言葉の上では何となく共通認識に達しているかの様相をきたすことになりながら、その実態は、ロータリアン毎に認識が異なってしまう悲しい事態に陥ってしまいます。国際ロータリーが1月をロータリー理解推進月間と指定した理由も実はこの辺にありそうです。組織が大きくなればなる程、又、組織の歴史が長くなればなる程、ロータリーに対するロータリアンの認識は一つに固めておかなければならないの

であります。認識がバラバラになってしまえば、イザというときにロータリーはその働きを果たすことができず、悪くすると分裂の危機をも招来することになりかねないからです。国際ロータリーが毎年1月をロータリー理解推進月間に指定しているのは、特に1月にはロータリーのことをもう一度考え直し、ロータリーに対する正しい認識を各ロータリアンが思い起こすことを期待してのことです。

何を学ぶのか

今、ロータリーは創立以来103年目のステップを刻んでいます。ロータリーの哲学は、勿論その創立の時に急に出来上がったものではありません。だからと言って今日までそのロータリーの哲学が変遷してきたものでもありません。ロータリーの哲学と言われるもの、原理原則と言われるものは、ロータリー創立の比較的初期に確立されたものであります。この初期ロータリーのときに確立されたロータリーの哲学、原理原則は、その後の風雪に耐えて何ら変わるところがなかったのであります。一方で、ロータリーは時代とともに変化した部分もありました。現象的に顕れる部分は大きな変化をきたしております。

こうした中で私たちは、ロータリーの本質と言われるもの、上記で言えばロータリーの哲学、原理原則と、

現象的には変化のある時代時代の産物とを峻別する必要に迫られます。それにはまず、これらを峻別する眼を養わなければなりません。これらの眼を養うためには、矢張りロータリーの古典と言われる書物を読まなければなりません。誰でも簡単にマニュアルに頼りたくなるものではありますが、マニュアルでは到底この眼は養えませんし、逆に誤解を生む虞れもあります。勿論これらの書物の邦訳よりも、原典にあたってみる方が良く越したことはありません。因みに私の同期のあるガバナーは、ガイ・ガンデカーの「A Talking Knowledge of Rotary」を日本語に訳すと張り切っておりますが、誠に頭の下がる思いが致します。ロータリーの古典を何冊か読むと、高邁なロータリーの原理原則が浮かび上がってくると思います。先ずこの作業が必要であります。そうしてその解説書や、関連する書物を紐解いていきますと、ロータリーの本質部分がより良く理解できるものと思われまます。どうかロータリアンの皆様、厄介なことではあります、一度こうしたことにトライしてみてください。

次に必要なことは、手続要覧（これはマニュアルとも言えますが）をよく読んでみて下さい。今のロータリーに必要なことは、この手続要覧を読めば大体理解できるものと思います。何故なら世界のあらゆるロータリークラブでは、共通してこの手続要覧に従っているのですから。問題は、日本人ロータリアン否、2650地区のロータリアンの多くがこの手続要覧を読まないどころか、購入さえしていないという事実であります。「ロータリーの友」は、公式地域雑誌としてロータリアンに購入が義務付けられておりますので、購入されていない方はないのですが、手続要覧は購入が義務付けられていないためその存在を知らない会員や手にされた方でも所謂ツン読したままの会員も多くいらっしゃいます。幸い、この1月に日本語版手続要覧の新版が出ますので、是非とも、クラブ会員全員がこれを購入されて、新版についての議論を高めていただきたいと思ひます。自分の入っているクラブがどのような定款に基づいて運営されているのか、そして、クラブと国際ロータリーはどのような関係になっているのか、又、国際ロータリーの定款、細則はどうなっているのか、更にロータリー財団と国際ロータリーはどのような関係になっているのか等は、国際ロータリーへの理解を深めるためにも是非とも明確に知っておくべき事柄だと思ひます。

もう一つ是非ともお願いしたいことは、ここ1年間の「ロータリーの友」を読み直していただくことあります。「ロータリーの友」には、多様な面からの記事が多く載せられていますが、国際ロータリー（含むロータリー財団）の過去1年間の歩みを知るには、これを読むに如かずであります。「ロータリーの友」を隠れたベストセラーから本当の意味でのベストセラーにさせていただきたいと思ひます。今の国際ロータリーの動きは、ロータリーの原理原則に反していないかどうか、あるいは、原理原則には少し外れているように

見えるが、何故に国際ロータリーがそのような方向に進んでいるのか等々を常々考えておくことは、誠に重要な事柄だと思ひます。そういうことを理解することによって、ロータリアンは主体的にロータリーに参加できるようになると思ひます。

研修の必要性を考える機会

今の国際ロータリーは、会員増強を強く訴えております。これは、ロータリーの活動がいかにか立派で尊いものであるとしても、その担い手であるロータリークラブに新しい会員がいなければ、ロータリーは数十年のうちに消滅してしまうからです。10年後のロータリークラブが現今以上のパワーを温存するには、会員増強は必須のこととなります。次年度の国際ロータリーの方針は、会員増強について今よりもはるかに強力なことを訴えるようであります。ご承知のように、今、ロータリーは創立100年を過ぎ、200年目に向けてステップを踏んでおります。この200年目に向けたステップが止まらないようにするには、単に会員増強だけで済むのでありましようか。答えはノーであります。ロータリー内部で研修を深め、ロータリークラブの質を上げ、延いては、ロータリークラブの提供するサービスの質を上げなければ、ロータリーは生き残れないように思ひます。国際ロータリーは、一方で会員増強を訴えておりますが、他方では、クラブ内研修の必要性をも訴えております。ロータリークラブの体力を増強すると同時に、ロータリークラブの提供するサービスの質を上げていく努力が必要です。1月は、このようなことを考える絶好の機会であります。

理解推進月間のもう一つの目標

ロータリー理解推進月間の目標は、会員にロータリーについての認識を深めてもらうこと以外に、もう一つあります。それは、一般社会にロータリーのことをもっとよく知ってもらうためのプログラムを実施することあります。これは、今迄よりももっとロータリークラブが地域社会に溶け込み、ロータリークラブの地域社会での認知度を高めるためのプログラムを実施することあります。これを達成するには、日頃からロータリーの広報活動に工夫を重ねていくべきです。ロータリーの広報の目的は二つありますが、一つ目はロータリー精神を地域社会へ普及する活動であり、二つ目は、地域社会でロータリークラブの認知度を高めることにより、会員候補者を増やすということあります。従って、ロータリーの広報の対象はロータリーポリシーでなければなりません。単なる奉仕事業の結果報告は、ロータリーにとって何の役割をも果たさないということをお銘記下さい。ロータリーポリシーを発信することにより、共同作業の可能な他の団体とも知り合いとなり、共同で事業を行うことによりロータリーポリシーのより一層の理解が得られるようになると思ひます。

地区大会

ロータリーの心を求めて

4月12日(土) 13日(日) 於：国立京都国際会館

地区大会は、地区内ロータリアンの大会として毎年ガバナーが計画・主催するよう要請されている任務のうちの一つです。その時と場所は、ガバナーと地区内クラブ過半数の会長の合意により定められます。

つくる友の輪 一つ心に

福井あじさい	松本 喜市	消防(行政)
福井あじさい	白崎 和子	料理店
福井あじさい	田中 義乃	菓子製造
福井北	服部 俊明	複写機販売
福井北	勝田 輝	弁護士
敦賀	藤本 静夫	原子力発電保守管理
敦賀	森 輝夫	税理士
敦賀西	荻原 肇	ホテル管理
びわ湖八幡	桑原 保二	自動車整備
びわ湖八幡	小林 正樹	倉庫業

草津	福井 二郎	管理機器製造販売
大津中央	浜本 博志	不動産鑑定士
東近江	小西 善壽	建築業
奈良大宮	野上 利樹	住宅製造
奈良大宮	玉川 博之	証券業
大和高田	森田 康宏	建築材料販売
京都	鬼本 寛	設備工事
京都西南	小西 義光	電気機械器具製造
京都朱雀	山内 保則	不動産業
京都八幡	開原 菜穂美	美容業

11/1~11/31 新入会員名簿

幹事報告

●月間行事予定

第2回奉仕プロジェクト部門新世代担当会議
1月12日(土) 13:00~15:45
於：ホテル京阪京都

世界社会奉仕(W.C.S.) ソロモンミッション
ソロモン諸島国際医療奉仕事業
ガダルカナル島ギゾ島訪問
1月14日(月) 関西国際空港発
1月21日(月) 関西国際空港着

職業奉仕講演会

1月26日(土) 13:30~15:30
於：京都テルサ テルサホール
講師：深川 純一氏(第2680地区P.G.)

●ガバナー賞応募申請について

締切 1月31日(木)
素晴らしい事業の応募をお待ちしております。

●R.I.規定審議会(2010年)提出議案について

締切 1月31日(木)

HP紹介

是非御覧下さい

地区ホームページはロータリー情報の宝庫!

橋本ガバナー年度のホームページが公開され、第2650地区の情報をどんどん更新し、発信しています。ロータリーに関する情報が満載です。

委員会の報告や各クラブの奉仕活動、また掲載を希望される記事や写真がございましたら、どしどし投稿して下さい。このホームページを活用いただき、ロータリアンのさらなる友情を深めていただくことが、私どもの何よりの願いです。皆様のご利用を、心よりお願いいたします。

<http://www.rid2650.gr.jp/>

2007年11月会員数の増減および出席率表

■福井県 (19クラブ)

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	11月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
福井	122	0	0	125	4	1	5	80.15
福井あじさい	50	3	1	50	3	3	4	84.16
福井東	39	0	1	42	4	1	4	80.95
福井北	116	2	2	119	8	5	4	87.02
福井南	66	0	1	66	2	1	4	75.78
福井西	44	0	0	45	2	0	4	89.02
福井フェニックス	50	0	0	50	2	1	4	77.00
福井水仙	26	0	1	26	0	1	5	85.29
勝山	27	0	0	27	2	2	4	93.51
丸岡	36	0	0	35	1	1	4	83.32
三国	41	0	0	42	2	0	4	74.10
大野	29	0	1	27	0	3	4	81.67
鯖江	52	0	0	54	2	0	4	82.32
鯖江北	30	0	0	30	0	0	4	86.89
武生	65	0	0	67	2	2	4	80.21
武生府中	43	0	0	42	0	2	4	98.21
敦賀	47	2	0	49	4	2	4	84.95
敦賀西	26	1	0	28	5	1	4	70.54
若狭	37	0	0	36	2	1	4	97.22
小 計	946	8	7	960	45	27	平均 4.1	平均 83.81

■滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	11月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
びわ湖八幡	48	2	0	51	4	3	5	85.68
五箇荘能登川	19	0	1	18	0	1	4	83.09
彦根	72	0	0	73	4	2	5	92.08
彦根南	64	0	0	65	1	0	4	94.26
湖南	37	0	0	37	1	0	5	91.19
草津	44	1	0	45	3	0	5	86.24
水口	45	0	0	46	1	0	4	96.92
守山	49	0	0	49	1	0	4	90.82
長浜	60	0	0	60	0	0	4	92.89
長浜東	67	0	0	68	1	0	4	93.28
大津	114	0	0	118	5	1	4	100.00
大津中央	34	1	0	35	2	0	4	92.79
大津東	26	0	0	26	0	2	4	69.46
大津唐橋	25	0	0	25	0	0	5	77.50
大津西	28	0	0	28	0	0	5	99.09
近江八幡	68	0	0	69	3	0	4	94.31
栗東	37	0	0	36	3	4	4	81.25
滋賀湖北	27	0	0	26	0	1	4	85.58
高島	39	0	0	39	0	0	4	96.39
野洲	38	0	0	38	1	0	4	89.22
東近江	52	1	0	52	2	2	4	85.77
八日市南	54	0	1	51	0	5	4	86.58
小 計	1047	5	2	1055	32	21	平均 4.3	平均 89.29

■奈良県 (13クラブ)

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	11月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
五條	42	0	0	41	1	2	4	90.15
平城京	40	0	0	41	3	1	4	96.90
生駒	39	0	0	40	4	1	4	77.87
橿原	76	0	1	75	1	1	4	70.23
あすか	54	0	0	54	0	0	5	97.63
奈良	137	0	0	144	7	1	4	94.30
奈良東	46	0	0	47	3	1	3	96.97
奈良西	42	0	0	46	4	0	3	97.83
奈良大宮	68	2	0	70	3	1	4	81.54
王寺	29	0	0	29	1	1	4	89.47
桜井	48	0	0	49	1	0	3	97.90
大和郡山	51	0	0	51	2	0	4	90.67
大和高田	99	1	0	100	1	0	4	94.01
小 計	771	3	1	787	31	9	平均 3.8	平均 90.42

■京都府 (42クラブ)

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	11月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
綾部	43	0	0	43	2	1	4	95.76
福知山	61	0	0	62	1	0	5	93.34
福知山西南	54	0	0	54	0	0	4	93.78
亀岡	40	0	0	42	2	0	5	100.00
亀岡中央	20	0	0	20	0	0	4	96.05
京都	198	1	1	201	10	5	4	96.22
京都伏見	87	0	0	91	4	1	4	90.61
京都平安	35	0	0	35	0	0	4	74.04
京都東	102	0	0	105	5	1	4	96.72
京都北東	35	0	0	35	0	0	4	86.15
京都城陽	29	0	0	30	1	0	3	97.74
京都桂川	36	0	0	36	1	0	4	93.20
京都北	66	0	0	67	1	1	5	95.47
京都南	216	0	0	221	6	0	4	95.63
京都モーニング	52	0	0	53	2	0	4	83.64
京都紫野	68	0	0	67	2	1	4	100.00
京都市中	41	0	1	40	1	1	4	100.00
京都西	104	0	0	104	3	1	4	97.86
京都西山	22	0	0	22	0	0	5	86.96
京都乙訓	39	0	1	37	0	3	4	92.09
京都洛中	83	0	1	81	2	4	4	99.03
京都洛北	68	0	0	72	6	1	5	91.20
京都洛南	40	0	0	40	1	0	4	86.58
京都洛西	49	0	0	49	1	0	4	93.47
京都東	40	0	0	40	0	0	5	90.50
京都さくら	27	0	0	29	2	0	5	81.54
京都嵯峨野	25	0	0	25	0	0	3	85.71
京都西北	50	0	0	51	2	0	4	95.68
京都西南	61	1	0	60	1	2	4	97.11
京都紫竹	47	0	0	47	0	0	4	82.89
京都朱雀	43	1	0	43	1	1	4	90.52
京都田辺	24	0	0	24	0	0	5	84.17
京都山科	84	0	0	84	4	0	4	99.64
京都山城	41	0	0	41	0	0	4	98.68
京都八幡	32	1	1	32	1	1	4	90.40
舞鶴	31	0	0	31	1	1	4	97.32
舞鶴東	56	0	0	56	0	0	5	92.77
峰山	39	0	0	39	0	0	5	96.73
宮津	52	0	0	53	1	0	4	93.66
園部	32	0	0	32	0	0	4	94.07
宇治	43	0	0	43	0	0	4	95.61
宇治鳳凰	45	0	0	45	1	0	5	90.45
小 計	2360	4	5	2382	65	25	平均 4.2	平均 92.69

■合計 (96クラブ)

クラブ名	7月末 会員数	入 会	退 会	11月末 会員数	入会 年間累計	退会 年間累計	例会数	出席率
合 計	5,124	20	15	5,184	173	82	平均 4.2	平均 89.85

■表作成にあたって

- ・会員数に名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、11月会員数および入退会者累計数は、11月末現在です。

弔慰	クラブ名	氏 名
	京 都 乙 訓RC	奥村 保 様
	京 都 洛 中RC	山崎 裕康 様
	京 都 八 幡RC	小崎 信志 様

国際ロータリー第2650地区 2007~2008年度

ガバナー事務所

〒604-8005 京都市中京区姉小路通河原町東入ル ABSビル301号
TEL 075-255-2650 FAX 075-255-2652